

社会福祉法人 宮古市社会福祉協議会

ホームページ: www.miyako-shakyo.or.jp  
Facebook: https://www.facebook.com/miyakovc/ ブログ: https://blog.goone.jp/miyakovc

**宮古市総合福祉センター**  
〒027-0038 宮古市小山田2丁目9番20号  
☎(64) 5050 FAX(64) 5055  
E-mail: info@miyako-shakyo.or.jp

**田老福祉センター**  
〒027-0321 宮古市田老字乙部 151-29  
☎(87) 2224 FAX(87) 4072  
E-mail: chiiki-t@miyako-shakyo.or.jp

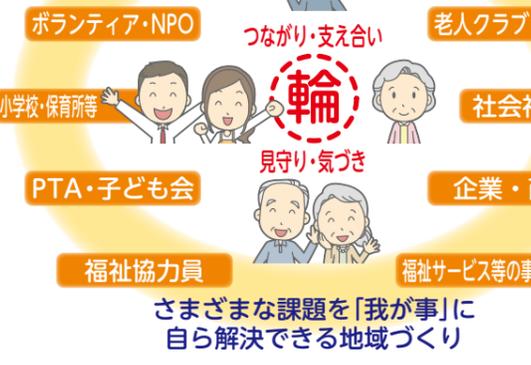
**新里センター**  
〒028-2101 宮古市茂市第1地割 115-4  
☎(72) 3437 FAX(72) 3433  
E-mail: vc-n@miyako-shakyo.or.jp

**川井センター**  
〒028-2302 宮古市川井第2地割 165  
☎(76) 2310 FAX(76) 2490  
E-mail: kawaishisho1@miyako-shakyo.or.jp

この広報誌は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています

近年、私たちの生活を取り巻く環境は、大きく変化しています。20年後には人口減少・少子高齢化がさらに進み、単身世帯は約4割に達すると予測されています。また、個人の生活スタイルや価値観の変化に伴い、地域のつながりは希薄化し、8050問題(※)やダブルケア(※)、社会的孤立やひきこもりなど、個人や世帯が抱える課題が複雑化・複合化してきています。

そのような生活の困りごとは、一つの世帯が同時に複数の課題を抱えていたり、誰にも相談できないことから表面化しにくく、必要な支援を受けられないまま状態が深刻化してしまふこともあります。



この他にも、皆さんの「地域のために何かしたい」という想いを形にするお手伝いをいたしますので、「相談ください」。

※フードパントリーにて、食料品や日用品を無料で配布する活動の「みやくらしネットみやこ相談室」は、市内に住むひとり親世帯を対象に今年度から実施を始めています。

【お問い合わせ先】  
くらしネットみやこ相談室 (651-7004)  
ボランティア・市民活動センター (477-3006)

このように、複合化・複雑化している生活の困りごとは、従来の高齢者・障がい者・子ども・生活困窮など分野別

の制度だけでは、対応しきれないものが多くなっています。

地域には、民生委員・児童委員をはじめ、自治会・町内会、社会福祉法人、NPO、行政など、様々な相談窓口があります。生活課題の解決に向けて、それらの住民、各支援機関が分野という「枠」を超えて連携し、既存の相談支援や分野の強みを活かして、地域全体で相談者に寄り添い支える、包括的なしくみづくりが必要で

今年度策定した、第2期宮古市地域福祉活動計画では、「ひと」と「人」が「つながり」関わりあい、ともに「支え合う」まち「みやこ」の基本理念の下、地域課題やニーズを発見し、受け止め、地域資源とつなぎ、具体的な解決へと導くためのコーディネート機能の充実に努めます。

宮古市社会福祉協議会は、これからも、皆さまと一緒に、誰もが、住み慣れた地域で、いつまでも安心して生活を送りたいという願いが実現できる地域づくりに取り組んでまいります。

※1 「8050問題」 「80」代の親が「50」代の子どもの生活を支えるという問題。背景には、子どもの引きこもりなど、親子の社会的孤立があります。

※2 「ダブルケア」 子育て、育児を担っている家庭が、親族等の介護も同時に担うこと。背景には、少子高齢化、核家族化など、家族関係の変化等があります。

誰も孤立しない地域づくり④  
地域住民と関係機関が「一緒に」すすめる地域づくり  
『包括的な支援体制』

令和3年度も、新型コロナウイルスにより1年になりました。コロナ禍で、できなくなったことは多々ありましたが、このような状況だからこそ、個人で、地域で取り組むべき活動が見えてきたように感じます。誰もが、誰かとながら、安心して暮らせる地域づくりにつながりたいですね。

令和3年度も、新型コロナウイルスにより1年になりました。コロナ禍で、できなくなったことは多々ありましたが、このような状況だからこそ、個人で、地域で取り組むべき活動が見えてきたように感じます。誰もが、誰かとながら、安心して暮らせる地域づくりにつながりたいですね。

令和3年度も、新型コロナウイルスにより1年になりました。コロナ禍で、できなくなったことは多々ありましたが、このような状況だからこそ、個人で、地域で取り組むべき活動が見えてきたように感じます。誰もが、誰かとながら、安心して暮らせる地域づくりにつながりたいですね。

令和3年度も、新型コロナウイルスにより1年になりました。コロナ禍で、できなくなったことは多々ありましたが、このような状況だからこそ、個人で、地域で取り組むべき活動が見えてきたように感じます。誰もが、誰かとながら、安心して暮らせる地域づくりにつながりたいですね。

令和3年度の社協会費納入にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。皆さまから納入いただきました会費は「誰もが安心して暮らせる地域づくり」をめざし、宮古市の地域福祉活動推進の財源として大切に活用させていただきます。

合計金額	16,478,010円
会費種別	金額
一般会費	14,536,010円
法人会費	1,436,000円
特別会費	506,000円

- 【寄付のお礼】  
期間 10月21日～1月31日
- ◆宮古下町町内会様 226,160円
  - ◆リズム様 2,600円
  - ◆佐々木多津子様 10,000円
  - ◆高浜婦人会会長 鈴木光子様 12,633円
  - ◆匿名様 10,000円
  - ◆宮古市ゴルフ協会様 14,700円

- ◆(株)トヨタレンタリース岩手代表取締役 元持雅行様 消毒スタンド
- ◆ふっこう支援掛川代表 曾根順子様 みかん40kg
- ◆みちのくコカ・コーラボトリング(株) 宮古営業所所長 中村淳史様 ジューズ60本
- ◆橋爪商事(株)宮古支店様 カレンダー・手帳
- ◆小本電器様 食品
- ◆宮古市中央通商店街振興組合 理事長 坂下昭弘様 食品
- ◆カフエ温心様 食品
- ◆社会福祉法人若竹会理事長 及川様 食品29kg
- ◆陸中宮古ライオンズクラブ 会長 岩田博子様 レトルト白米
- ◆第生命保険株式会社宮古営業オフィス様 食品

岩手県共同募金会宮古市共同募金委員会  
令和3年度共同募金(赤い羽根・歳末たすけあい)運動結果報告

たくさんのご協力ありがとうございました!

募金総額 17,915,262円

(赤い羽根募金 10,293,220円 / 歳末たすけあい募金 7,622,042円)

募金受付期間・10月1日から12月31日まで

本年度の募金活動は、新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら活動しました。募金にご協力・ご支援をいただきました皆さまに感謝申し上げます。お寄せいただいた募金額と、その用途についてご報告します。



赤い羽根共同募金運動

募金総額 10,293,220円

(募金目標額 13,693,000円 達成率 75.2%)

本年度お寄せいただいた募金は、約70%が令和4年度に宮古市で実施される地域福祉活動事業費として配分されます。

また、約30%は大規模自然災害に備えた災害準備金として積み立てられ、災害発生時に活用されます。

また、新たな募金活動として取り組んだ、寄付つき商品の立ち上げや、昨年度に引き続きガチャポンマシンの活用による募金活動にも積極的に取り組みました。

募金の内訳	金額
戸別募金	7,528,090円
街頭募金	372,498円
法人募金	1,233,550円
学校募金	215,396円
職域募金	542,480円
イベント募金	10,941円
個人募金	147,911円
その他の募金	242,354円
合計	10,293,220円



コロナ禍での新たな募金活動として、「寄付つき商品」を立ち上げました。商品代金の一部80,726円の寄付をいただきました。ArtEriy's様、ご協力ありがとうございました。

宮古市歳末たすけあい運動

募金総額 7,622,042円

(募金目標額 9,304,000円 達成率 81.9%)

お寄せいただいた募金は、右記のとおり支援を必要とされる方々へ配分され、地域の福祉活動の充実や、福祉のまちづくりの推進を図るために活用されました。

なお、募金総額から、配分額と事務経費(335,000円)を差し引いた額は、来年度の地域福祉活動日として役立てられます。

種別	実績額(円)
戸別募金	7,459,150円
個人募金	44,846円
その他の募金	118,046円
合計	7,622,042円

◆地域福祉活動団体配分 10団体 206,000円  
市内で活動している障がい児・者会、親の会や子育てサークル、私立・無認可保育園の年末年始に行う行事の経費の一部として

◆地域福祉活動事業配分 「みんなでささえあう あったかい地域づくり支援事業」 15団体 574,000円

地域のみんが互いに交流し助けあい、住民が主体となつて行う年末年始の交流・助けあい活動の経費の一部として

◆在宅者配分 543件 5,430,000円  
介護人 206件  
在宅重度心身障がい児・者 120件  
出生世帯 217件

学年	賞	タイトル	学校	名前
1年	最優秀賞	あかいはねでげんきなまちに	田老第一小学校	藤人
2年	最優秀賞	ぼくもきんメダル	宮古小学校	加藤
3年	最優秀賞	ひいおばあちゃんのエ顔	赤前小学校	隅田
4年	最優秀賞	相手を想ってせつする大切さ	田老第一小学校	堀内
5年	最優秀賞	一りんのひまわりから生まれたつながり	田老第一小学校	田嶋
6年	最優秀賞	相手を想ってせつする大切さ	田老第一小学校	田嶋

今年度の福祉作文・標語コンクールには、作文の部に全62点(小学校の部20点、中学校の部24点、高等学校・一般の部8点)、標語の部には99名、合計152名の応募をいただきました。この中から11月上旬に行われた審査会にて入賞作品34点が決定しました。たくさんのご応募、ありがとうございました。

今年度の入賞者表彰式は、新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら、令和4年1月15日(土)、宮古市民文化会館大ホールで行われた、第16回宮古市社会福祉大会内で行いました。入賞者の皆さま、おめでとうござい



入賞作品集や標語ポスターは、市内公共施設や福祉施設でもご覧になれます。ぜひご覧ください。

第33回宮古市福祉作文・標語コンクール入賞作品決定

学年	賞	タイトル	学校	名前
1年	最優秀賞	あのお顔をもう一度	津軽石中学校	大森
2年	最優秀賞	お母さんの仕事と職場から	宮古西中学校	小島
3年	最優秀賞	助け合うこと	宮古西中学校	及川
4年	最優秀賞	心のバリアフリー	津軽石中学校	飛田
5年	最優秀賞	いつも笑顔のおばさん	津軽石中学校	久保
6年	最優秀賞	私と祖母の一年間	津軽石中学校	佐々木

学年	賞	タイトル	学校	名前
1年	最優秀賞	子どもたちに居場所を	宮古高等学校	後藤
2年	最優秀賞	子どもにとっての幸福を考える	宮古高等学校	田代
3年	最優秀賞	超高齢社会の抱える問題	宮古高等学校	齋藤

学年	賞	タイトル	学校	名前
1年	最優秀賞	該当なし	宮古第一小学校	藤人
2年	最優秀賞	該当なし	宮古第一小学校	加藤
3年	最優秀賞	該当なし	赤前小学校	隅田
4年	最優秀賞	該当なし	田老第一小学校	堀内
5年	最優秀賞	該当なし	田老第一小学校	田嶋
6年	最優秀賞	該当なし	田老第一小学校	田嶋